



林 声

2012

5月号

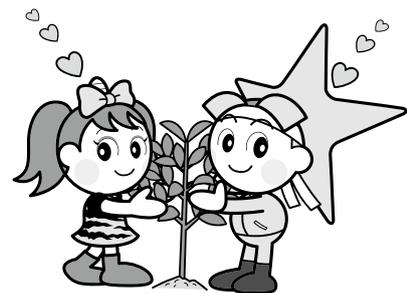


平成24年3月29日、石井知事出席のもと、岡山県農林水産総合センター農業大学校木造研修交流等施設（赤磐市）の完成披露式が行われました。150人収容できる研修交流ホールと農業大学校で学ぶ学生のための学生寮（春風寮、46室）が併設されています。

【施設概要】木造2階建て 延べ床面積1,385m²（1階745m²、2階640m²） 木材使用量 281m³

目次

第3次おかやま夢づくりプランについて……………	2
平成24年度森林林業主要事業について……………	3
林研グループから……………	7
おかやま森づくりサポートセンターについて……	8
木材利用・技術①……………	9
お知らせ……………	10
技能講習会、イベント情報……………	11
林産物市況……………	12



岡山県マスコット
「うらっち」と「ももっち」

「暮らしやすさを日本一」の岡山をめざして
 ～第3次おかやま夢づくりプランを策定しました～

岡山県は、昨年12月に県政推進の羅針盤となる「第3次おかやま夢づくりプラン」を策定しました。

プランでは、今年度から5カ年間の行動目標として「安全・安心な地域づくり」「地域を担う人づくり」「発展につながる産業づくり」「豊かで潤いのある暮らしづくり」の4つの基本戦略を設定し、持続的に発展し、安心して暮らせる「暮らしやすさ日本一」の岡山の実現を目指しています。

施策は、特に力点を置いて進める「メッセージ施策」とその他の「基本政策」に分類されています。林業普及指導事業は、下記のとおり、「岡山県産ヒノキの需要拡大と魅力ある林業の実現」等の「メッセージ施策」や「明日の岡山県農林水産業を支える新技術の開発と迅速な普及」等の「基本施策」に基づいて推進することになっています。

なお、岡山らしさあふれる先進的な政策や施策を「岡山モデル」として盛り込み、平成28年度までに達成しようとする目標値である「暮らしやすさ指標」を設定しています。

皆さまの御協力をお願いいたします。

(林政課 普及指導班)

メッセージ施策

岡山県産ヒノキの需要拡大と魅力ある林業の実現

本県の優れたヒノキ等の人工林資源は年々充実してきており、効率的な加工流通体制を整備し、乾燥材等品質・性能に優れた製材品の販路を県内外に広げ、需要拡大を図ります。また、意欲と実行力を有する者に森林経営を集約化し、林道や作業道の整備などを加速することにより、生産性の急速な向上を図り、県産材の安定供給と持続可能な魅力ある林業の実現を目指します。

岡山モデル 県産材サポーター・登録工務店制度の創設

暮らしやすさ指標

● 県産材の生産量



次代を担う「力強い」担い手の育成

森林の適正な管理と林業の再生を図るため、森林経営計画の作成、作業道開設、現場作業、木材加工・流通など各段階で、森林・林業を支える担い手の育成・強化を図ります。

県民が育て楽しむ森づくりの推進

地域の里山林等を整備する森林ボランティアグループ等の自主的な取組を促進するため、森林ボランティア活動をサポートする新たな仕組みづくりを行うとともに、企業等の森づくり活動への参加を支援するなど、県民参加の森づくりを推進します。また、栗やきのこ栽培、炭焼き、自然観察会など、参加者が森の恵みを楽しみながら森づくりを行う取組を推進します。

岡山モデル おかやま森づくり県民税を活用した森林保全の推進

暮らしやすさ指標

● 森づくり活動に取り組む団体数



基本施策

明日の岡山県農林水産業を支える新技術の開発と迅速な普及

「高品質」や「安全・安心」、「環境」、「収益性」をキーワードに、産官学連携等の活用による新品種・新技術の開発や生産現場への迅速な普及・定着、現地の課題やニーズに即した技術情報の収集と提供、現地技術の組立・実証を通じた新技術の迅速な普及など

● 平成24年度森林・林業主要事業について ●

森林は、水資源のかん養や県土の保全、地球温暖化の防止などの公益的機能を有しており、森林に対する県民の期待はますます高まっています。

一方、世界的な景気後退による住宅着工戸数の大幅な減少や、木材価格の低迷、手入れの行き届かない森林の増加など、森林・林業を取り巻く情勢は厳しい状況が続いています。

このため岡山県では、「21おかやま森林・林業ビジョン」のもと、循環資源である木材や木質バイオマスの利用促進、二酸化炭素の吸収源となる森林を確保するための間伐の推進など、森林・林業を取り巻く諸課題に的確に対処することとしています。

平成24年度の森林・林業主要事業をご紹介します。平成24年度の当初予算額は、一般会計7,521百万円（対前年比90.9%）を計上しています。

緑豊かで健全な森づくりの推進に努めてまいりますので、皆様のご理解とご協力をお願いします。

1 主要事業の概要

● おかやまの木で家づくり推進事業

【担当課：林政課林業木材班】



木材需要の大半を占める住宅建築において、木造住宅の普及を促進し、品質の安定した県産乾燥材の積極的な利用を推進するため、柱や土台など主要構造部材に、県産乾燥材を一定量以上使用して木造住宅を新築する方への助成を行います。

(1) 助成額 新築1件当たり 20万円

(2) 主な採択条件

- ① 県内に自ら居住するための新築一戸建て木造の個人住宅（建売住宅も含む）
- ② 主要構造部材に8m³以上の県産乾燥材を使用し、その使用量が木材使用量全体の50%以上を占める住宅
- ③ 住宅の規模は、延床面積80m²以上のもの
- ④ 建築基準法に基づく確認済証交付日又は建築工事届受理日が平成24年4月1日以降の住宅
- ⑤ 主要構造部材の施工が完了し、平成25年3月31日までに現地確認が可能なもの
- ⑥ 補助の対象となる部材が、国の他の補助事業の対象となっていないこと 等

● 地域材活用促進支援事業

【担当課：林政課林業木材班】

県産乾燥材の住宅・建築物への利用拡大を図るため、店舗・事務所等の新築や住宅、店舗・事務所等を改修する方へ助成を行います。

1 店舗・事務所等の新築

(1) 助成額 新築1件当たり 20万円

(2) 主な採択条件

- ① 県内に新たに建築される木造の店舗・事務所等
- ② 主要構造部材に15m³以上の県産乾燥材を使用し、その使用量が木材使用量全体の50%以上を占める店舗・事務所等
- ③ 建築基準法に基づく確認済証交付日又は建築工事届受理日が平成24年4月1日以降の建築物
- ④ 主要構造部材の施工が完了し、平成25年3月31日までに現地確認が可能なもの
- ⑤ 補助の対象となる部材が、国の他の補助事業の対象となっていないこと 等

2 住宅、店舗・事務所等の改修

(1) 助成額 改修1件当たり 県産乾燥材使用量に応じて6～20万円

(2) 主な採択条件

- ① 県内で改修される既存の住宅、店舗・事務所等
- ② 主要構造部材及び内外装材等に5m³以上の県産乾燥材を使用し、その使用量が木材使用量全体の50%以上を占める住宅、店舗・事務所等
- ③ 主要構造部材及び内外装材等の納材が、補助金交付予定者決定通知書の交付日以降であること
- ④ 主要構造部材及び内外装材等の施工が完了し、平成25年3月31日までに現地確認が可能なもの
- ⑤ 補助の対象となる部材が、国の他の補助事業の対象となっていないこと 等

● 公共建築物等木材利用促進事業

【担当課：林政課林業木材班】



平成22年10月に施行された公共建築物等木材利用促進法に基づいて、公共建築物における木造化や内装等の木質化等を促進するため、市町村施設を始め、民間の学校や老人ホーム等法律に定められた公共建築物について県産材を活用して木造化を検討する場合に、実施設計に先立つ計画概要図書の作成経費を補助します。

〔 県産材公共建物利用促進支援事業 〕

- 1 事業主体 市町村、医療・福祉法人等公共建築物を整備する者
- 2 補助率 定額（1計画当たり上限400千円）
- 3 実施計画 10計画
- 4 補助対象 木造化のイメージを表現した計画概要図書の作成
外観パース、内観イメージ図、標準仕様図書、県産木材製品の導入計画書、
木質バイオマスを燃料とする暖房器具やボイラーの導入計画書等

● 県産ヒノキ販路拡大等推進事業

【担当課：林政課林業木材班】



県産材の需要を拡大し、適正な森林整備を図るため、消費者が求める品質・性能に優れた製材品の安定供給を図り、県内外の需要を喚起するとともに、新たな販路の開拓や用途開発を推進します。

〔 県産ヒノキ販路拡大推進事業 〕

- 1 事業主体 (社)岡山県木材組合連合会
- 2 事業種目 ・ 県産材新販路等開拓実証事業
・ 県産ヒノキ新用途（梁・桁等集成材）実証事業
・ 県産材性能表示促進事業
・ おかやま木づかいサポーター養成等事業

● 林業担い手対策事業

【担当課：林政課林業木材班】



林業労働力の育成・確保を図るため、安全装備などの導入支援や、安全衛生の確保、林業就業者の福祉向上対策を進めます。

また、林業事業体が行う職場内研修への助成や、県・市町村の森林利用施設を活用した技術習得の機会を提供して新規就業者を育てます。

〔ニューフォレスター育成支援事業〕

- ・ 事業主体：森林組合等の認定事業体
- ・ 事業内容：林業事業体の行う職場内研修への支援（補助率：研修生1人につき月2万円以内）

〔ニューフォレスター創造事業〕

- ・ 事業主体：市町村等
- ・ 事業内容：県及び市町村管理の森林利用施設の整備を、新規就業者が技術習得できる研修の場として提供（補助率：市町村施設 1/2以内、県施設 10/10以内）

〔林業労働安全作業器具等導入事業〕

- ・ 事業主体：森林組合等の認定事業体
- ・ 事業内容：安全作業を確保するための装備等の導入支援（補助率：1/2以内）

●造林事業

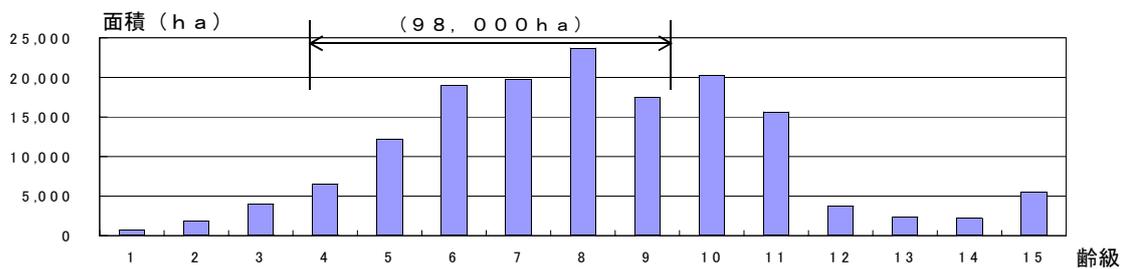
【担当課：治山課造林班】



森林・林業の再生と森林の持つ多面的機能を持続的に発揮させるため、間伐や伐期の長期化、針広混交林への誘導など多様な森林整備を推進するとともに、「地球温暖化防止等間伐推進5カ年計画」により、平成20年度から5年間で3万ヘクタールの間伐を計画的に実施し、京都議定書の第1約束期間におけるCO²の吸収源となる森林を積極的に確保します。

〔間伐対象森林の現状〕

民有林の人工林面積は173千haで、このうち4～9齢級（16～45年生）の間伐対象森林（スギ・ヒノキ人工林）は98千ha（57%）となっています。



スギ・ヒノキ人工林の齢級配置

●治山事業

【担当課：治山課治山班】



山地災害から県土を保全し、森林の公益的機能の維持・向上や、良好な生活環境の保全・形成を図るため、治山施設の設置による防災対策や荒廃森林の整備を計画的に実施します。

事業名	平成24年度計画
治山事業	53箇所
森林維持管理事業	8箇所

●林道事業

【担当課：治山課林道班】



林業経営の合理化や、間伐など森林整備の促進、山村地域の振興を図るうえで基幹的な施設となる林道の開設・改良・舗装を計画的に推進します。

・林道の現況（平成23年度末見込み）

路線数	総延長	林道密度
1,414路線	2,095 km	4.7m/ha

（林政課森林企画班）

2 平成24年度の試験研究について

1. 森林研究所の運営方針

当所は、第3次夢づくりプランの基本戦略に掲げる「儲かる産業に！攻めの農林水産業育成プログラム」の実現に向け、本県の自然的条件や林業生産技術等の特性を踏まえ、長期的な展望に立った試験研究を行っています。研究課題については、森林・林業・木材関係者などから広く募集するなど、地域の要請に沿った実用的な試験研究に取り組むことにしています。なお、課題の重点化と明確化を図るため、森林・林業研究では、育種育林など5分野を、木材加工研究においては、材質特性の解明など3分野を基軸にしています。

2. 主な試験研究の概要

【間伐材の有効利用に向けた先進的低コスト作業システムの研究】

間伐が県下で進められていますが、多くの間伐木や根元部分等の端材は採算性などの問題から、森林内に放置されています。そこで、放置されている間伐木等を効率的に搬出するため、先進機械を使用した低コスト作業道開設技術の開発や高性能林業機械を用いた低コスト作業システムの研究を、岡山大学農学部との共同研究で、また森林組合や民間事業体の協力を得て行っています。

今年度は、主に木寄せに用いる機械の選択や用材とチップ材を分別する工程の検討並びに架線系の機械を用いた新たな伐採集材方式の導入について実証を行い、これらの結果を基に「おかやま型低コスト作業システム」を提案したいと考えています。

【シカによる森林被害の実態と対策に関する研究】

森林に対するシカの被害は、県東部を中心に急増し、人工林での剥皮や枝葉の食害、天然林での稚樹の食害などが問題になっています。そこで、森林被害の実態と糞塊密度法による生息状況の解明を行います。また、関係市町村等と連携し、効果的な防除方法の実証試験を予定しています。

【岡山県産構造用製材のスパン表の作成】

スパン表とは、梁・桁材などの横架材について、荷重を受ける間隔(柱等の配置間隔)とその際に必要とされる部材の断面寸法との関係を一覧表にしたもので、これにより県内の製材工場、工務店・設計士等は、県産材の強度データを把握することができ、県産材を使用した建築物の設計が容易になります。

今年度は、当所が積み重ねてきた県産材の強度データに、強度試験により不足する部材を加え作成した表について、建築士等の意見を聴くことにしており、25年度の完成を目指します。

【内装用木材の含水率管理技術の開発】

県産材の利用拡大を図るには、従来からの構造材利用に加え、高層建築物や非木造建築物の内装材への利用を促進していく必要があります。しかし、内装材の最適仕上がり含水率については、十分なデータが得られていません。そこで、室内環境とそこで使われる木材の平衡含水率の関係を調査し、最適な仕上げ含水率を解明するとともに内装材乾燥技術について研究します。

3. 平成24年度試験研究課題一覧

区 分	課 題 名	実施年度
育林育種	抵抗性クロマツの作出	20～24
	マツノザイセンチュウ抵抗性アカマツの現地ランキング	22～24
	育林におけるグルタチオンの効果調査	24～25
森林保護 特用林産	シカによる森林被害の実態と対策に関する研究	23～25
	マツタケ菌の定着促進技術の開発	22～24
	倒木接種による省力的きのこ栽培方法の研究	23～25
	移動式バイオマス暖房機の実用化	23～24
経営機械	岡山甘栗の産地化に向けた栽培基礎調査	24～25
	間伐材の有効利用に向けた先進的低コスト作業システムの研究	23～24
材質特性の解明	岡山県産構造用製材のスパン表の作成	23～25
	加工技術の開発・改良	
木質材料の開発	木材の新しい劣化診断技術の開発	23～25
	内装用木材の含水率管理技術の開発	24～28
	木質バイオマスを有効利用するための品質の実態把握と改良方法の検討	23～24
	県産ヒノキによる集成材の性能評価及びコスト分析	24
木質材料の開発	天然塗料を用いた環境に優しい建築用着色木材の開発	22～24
	木質バイオマスを利用した化学処理による新素材の開発	23～24
計	16 課題	

【共同研究、受託研究】(予定を含む)

区 分	課 題 名	実施年度
育林育種	真庭地域におけるスギ・ヒノキ人工林の森林資源量予測技術の開発(受託研究)	24～26
特用林産	地域特性品種(モミジガサ等)優良系統の選抜(共同研究)	23～24
木質材料の開発	木粉の製造条件、特性評価等に関する技術開発(受託研究)	24
計	3 課題	

(農林水産総合センター 森林研究所)

平成23年度 全国林業グループ
コンクールに参加して

真庭森林・林業研究会

会長 宮田 修治

平成24年2月28日、真庭森林・林業研究会は、国立オリンピック記念青少年総合センターで開催された「全国林業グループコンクール」に中国・四国代表として参加させていただき、林野庁長官賞を受賞いたしました。全国、各プロックから選出された6つの林研グループによる発表は、各プロックの代表にふさわしい素晴らしい内容でした。

各団体の発表内容に共通していたことは、林研グループが地域のリーダーとなって、様々な表現方



発表風景

法、手法により森林・林業の役割や大切さ、魅力などを情報発信し、

改めて森林・林業のことを多くの人に認識してもらおうことでこの厳しい現状を地域一丸となって打破しようという、熱い思いでした。

農林水産大臣賞を受賞された「静岡市林業研究会」は、全国でも前例の少ない森林認証SGECの取得に地域一帯で積極的に取り組まれており、当研究会においても今後に向けて大いに参考となる報告でした。

真庭森林・林業研究会もこれまで様々な活動を行ってまいりましたが、今回は、「森林資源量の調査（林地残材の有効利用）」について活動発表しました。これは、地域材の安定供給や未利用木質資源（林地残材）の利活用、森林所有者の所得の向上を図ることを目的に、真庭地域の資源量を的確に把握しようという取組であり、間伐施業地での材積算出、林地残材、搬出コスト、成長量等の調査を実施し、様々な観点から分析・検討した内容をとお話しました。

基調講演では、石川県羽咋市役所農林水産課の高野誠鮮氏による「限界集落からの脱却―地域再生」と題してお話がありました。

氏は限界集落の再生に尽力され、地域住民と一体となって、原因の追及と独創的な着眼点によりわず

か数年で地域再生を成し遂げられました。様々な障害を乗り越え、地域住民からどのように同意と信用を得ていったかという経緯を惜しみなく話していただき、氏の熱い情熱と行動力に驚嘆すると共に、同じ目標に向かう人たちが力を合わせれば結果は付いてくるという言葉に、今後の私どもの活動に大きな自信を持つことができました。

今回、このような貴重なコンクールに参加させていただき、他団体との交流や情報交換を行うことができ、この厳しい情勢の中、所属や場所は違えど、全国には林業再生に向け、日々取り組んでいる仲間がいることを心強く感じました。今後は真庭森林・林業研究会においても地域の仲間と協力しながら、地域林業の発展に向けて頑張りたいと思います。



受賞風景

全国林業女性学習の
集いに参加して

アメダス婦人林研グループ

渡邊 和子

平成24年3月7、8日に、南青山会館他で開催された「全国林業女性学習の集い」にグループから2名参加しました。

寒川歳子氏の「主婦が森林組合長になりました」の講演を聞いて女性のパワーの素晴らしさを感じました。ご主人を早くに亡くされ森林組合長、自宅林業経営、子育て、地域に一つしかない神社の神主としても頑張った。そして、町に住む人や子供・学生を呼び込み、山の大切さを知らせ、色々な体験活動を通して自然に触れる機会を多くし、楽しむことで元気になれる山村作りをされたそうです。力強い自信に満ちた講演を聞き勇気づけられました。またグループ討議では、それぞれの地域の特性を生かし、草木染め、クラフト作り、学校林の作業の手伝い、村町交流など色々な活動に取り組みまれており、そのいきいきとした表情に引き込まれ、楽しく意見交換ができました。この集いに初めて参加しましたが、全国の皆さんの活動を知ることができ、これからの活動の参考にしていきたいと思います。

岡山県では、森林ボランティア活動をサポートする新たな仕組みづくりを進めています。

【これまでの経緯】

これまで、岡山県の主導により行われた森づくり運動は、延べ10万人以上もの県民の皆さんに、植樹・保育のつどいに参加いただき、各地域では森林ボランティアグループ等が活動されているほか、森づくり活動に必要な知識・技術を習得した数多くの指導者が活躍されています。

今後、森づくり活動をさらに発展させていくためには、これまでの成果を生かして、各地域の森林ボランティアグループや指導者の皆さんによる自主的な取組を促進することが必要となっています。

【新たな仕組みづくり】

そこで、地域の里山林等を整備する森林ボランティアグループ等の自主的な取組を促進するため、森林ボランティア活動をサポートする『おかやま森づくりサポートセンター』を新たに設立することとしました。この協議会が主体となり、ボランティアグループの交流・活動支援、植樹・保育のつどい等の開催、指導者の登録・紹介、

森林活動に関する情報提供等を行うとともに、栗やきのこ栽培、炭焼き、自然観察会など、参加する方々が森の恵みを楽しみながら森づくり活動を行う「県民が育て楽しむ森づくり」を推進します。

【準備状況】

協議会の設立については、本年3月以降、森づくり活動団体等の関係者が集まり、6月の業務開始を目指して、作業を進めています。また、協議会への参加を募るため、各森林ボランティアグループ等を対象とした説明会を5月10日（木）に開催する予定です。

【サポートセンターの業務】

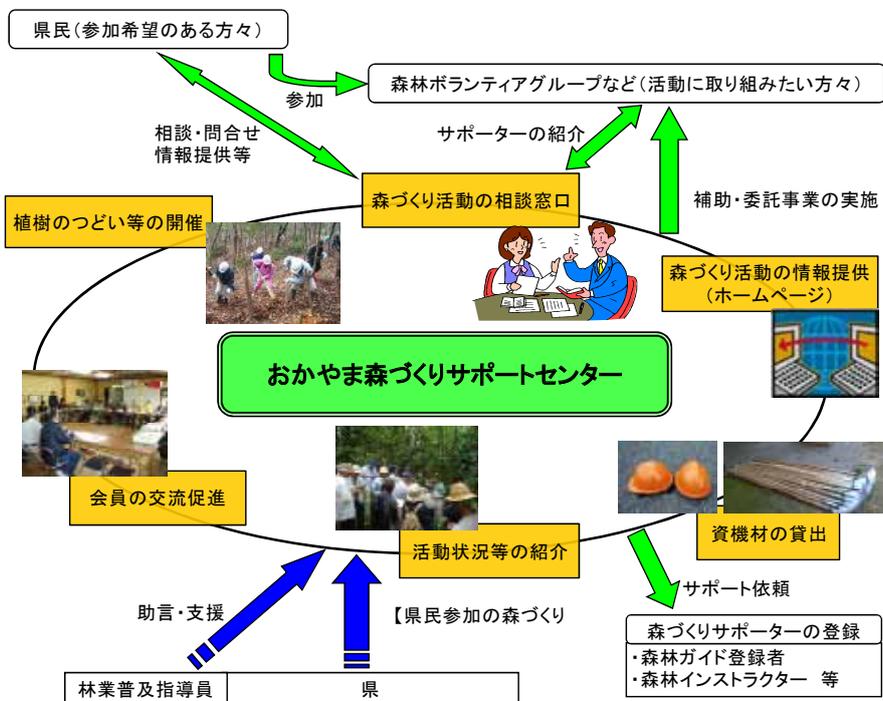
サポートセンターは、次の業務を行うことにより、多様な森づくり活動を支援します。

- ・森づくり活動を体験することのできる「植樹のつどい」等を開催します。
- ・森林ボランティアグループ等の自主的な活動に助成を行います。
- ・森づくりの知識・技術を持たれた指導者の方々を「森づくりサポーター」として登録します。

また、森づくり活動に関するウェブサイトの総合窓口を設置し、次のような森づくり活動に関する情報提供を行うことにより、森林ボランティアグループ等を支援し

ます。
 ・様々な森づくり活動に関する相談に応じます。
 ・ホームページ等により、森づくり活動に関する情報提供を行います。
 ・ヘルメットや鋸などの森づくり活動に必要な資機材の貸出を行います。

「森づくり活動に取り組んでみたい」、「植樹や間伐などを体験したい」といった希望がありましたら、「県民参加の森づくり推進協議会（仮称）設立準備会」までお問い合わせください。
 （林政課 普及指導班）



【問い合わせ先】

〒710-8530 倉敷市羽島1083 備中地区林務団体事務局内
 電話及びFAX 086(441)8278

木材利用・技術①

県内では、戦後植林されたスギ・ヒノキの人工林が主伐期を迎えつつあります。木材は建設・建築資材としての用途のみならず、パルプ・燃料・マテリアル等様々な利用が可能な資源です。

このページでは、色々な角度から木材利用についての取組や可能性を紹介していきたいと思えます。

第1回目は、森林研究所木材加工研究室で『樹皮』を利用して研究・開発された木質材料を紹介します。

1. はじめに

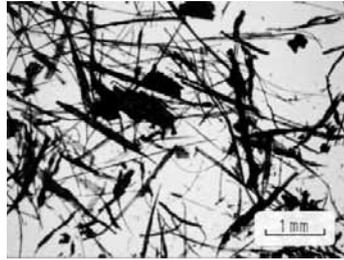
製材工場の現場では大量に発生する樹皮の処理が課題の一つとなっています。岡山県北部地域は西日本有数の国産針葉樹製材産地で、工場によっては自社で燃料への再利用を行ったり、家畜の敷料や堆肥原料等に用いられています。しかし消費量は不安定で極めて安価で取引されていることから、付加価値の高いマテリアル利用の用途開発について要望が出ていました。

2. 粉碎樹皮資材の試作と評価

まずは、ヒノキ樹皮を粉碎して繊維の特徴を把握しました。粉碎樹皮には比較的長大な樹皮ストラ



樹皮ストランド



微細な樹皮繊維

ンドと微細な樹皮繊維が含まれていて、それぞれ優れた原料としてマテリアル利用が可能でした。初めは、比較的比重で柔軟なシートを成形することに成功しました。そして次に、同様の粉碎樹皮を用いて厚さ15mm程度の低密度ファイバーボードを試作し、熱抵抗、吸音率、ホルムアルデヒド吸着の3つの機能性の評価を行いました。実験の結果、次のことがわかりました。①木質系断熱材として比較的良好な熱抵抗を有する。

②ボード厚さや密度等の最適化により、優れた吸音性能を発揮する。

③ホルムアルデヒド、アンモニアに対する吸着性は同重量のヤシ殻活性炭と同等以上の性能を有する。

これにより、ヒノキ樹皮が機能性に優れた建材等の原材料として利用できる可能性が出てきました。

3. 製品開発、商品化へ

① 緑化シート

濡れた状態の樹皮繊維束を、格子状の熱板を用いて140度前後の温度で圧熱し、樹皮に含まれるタンニン等の接着作用により、部分的に自己融着させて製造しました。接着剤を用いず、柔軟性と排水・



樹皮シート

排水パランスに優れています。伯備建設株式会社（新見市）との共同研究により、当初、生分解性マルチ（防草）資材を目的に開発し、一定の効果も

確認しましたが、コスト高となり実用化が難しいと判断されました。そこで



屋上緑化実証試験

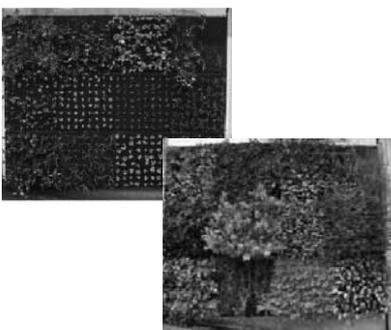
比較的销售単価の高い屋上緑化基材としての実証に切り替え、現在では「ウッドディーマット」の名前で商品化され、主に屋上緑化等に利用されています。

② 緑化ボード

樹皮を粉碎加工した商品「E・ソイル」で土壌改良や緑化事業を全国展開している、ジャパン緑化株式会社（鳥取市）と株式会社クラレが開発した環境に負荷のない接着剤を用いて壁面緑化ボードの開発を行いました。

植物には水分が必要なため、ボードには湿潤状態においても長期にわたり形状が維持できることが必須条件となります。また、植物が根を張るために適度な空隙がなくはないけません。

様々な条件をクリアし、現在では「E・ソイルボード」の名前で商品化されています。



壁面緑化実証試験

4. おわりに

現在の樹皮利用は、発生量に対してほんの一部にすぎません。有効利用を進めるために、新分野での利用に取り組んで行く必要があります。



壁面緑化施工実例

特許情報

- 1) 「木質系繊維成形体及びその製造方法」(特許第4176006号)
- 2) 「樹皮粉砕物を含む成形品の製造方法」(特願2009-69859)

参考文献

- ・岡山県木材加工技術センター業務報告書(H13～H18年度)
- ・平成22年度森林研究所研究成果発表会

(普及推進課 林業普及推進班)

★お知らせ★

岡山県立森林公園開園

昨年12月から冬期(積雪のため)閉園していた県立森林公園が、4月27日に開園しました。

同公園(334ハシ)は、鏡野町羽出及び上齋原地域の鳥取県境に位置し、ブナ林や湿原など豊かな自然が残されています。



開園からしばらくの間、中央園路沿いの湿地にはザセンソウが、林床にはキク



ザキイチゲやイワウチワなどが顔を出し、園内は郷土岡山の可愛らしい花々でいっぱいになります。山はブナやカラマツの芽吹きでバステル調に淡く色づき、コガラ等の野鳥たちが一斉にさえずり出します。

一年の中でも大変美しい時期の森林公園に、春の息吹に触れに是非一度足をお運びください。

◇現地の最新状況等問い合わせ

(森林公園管理センター)

TEL 0868(52)0928



「緑の募金」ご協力をお願いします

緑の募金でふせごう地球温暖化

募金期間

春のみどりの月間

4月1日～5月31日

秋のみどりの月間

10月1日～10月31日

口座振込はこちらへ

ゆうちょ銀行 01270-0-5225
中国銀行岡山駅前支店 1852041
トマト銀行岡山駅前支店 1027972

寄付金に対する税の優遇措置が適用されます。

公益社団法人 岡山県緑化推進協会

岡山市北区錦町1-8 TEL・FAX (086) 221-9511



緑豊かな自然を守る

治山・林道事業の普及啓発、技術支援
治山・林道の調査、測量、設計、積算
林分収穫調査、森林整備の総合計画

(社)岡山県治山林道協会

岡山市中区高屋 225-1 TEL 086-271-3711

津山市二宮 1849-2 TEL 0868-28-9360

技能講習会の開催

※詳細は申込先にお問い合わせください。

名 称	会 場	日 程	申込・問合せ先	
小型移動式クレーン運転	岡山 津山	5月17, 18日・7月19, 20日 6月14, 15日	(社) 岡山県労働基準協会 TEL (086) 225-3571	
玉掛け(未経験者対象)	岡山 新見 和気 津山 玉野 笠岡	5月10, 11日・6月14, 15日 7月5, 6日 5月17, 18日 5月24, 25日 6月4, 5日 6月11, 12日 6月21, 22日		
玉掛け(補助業務経験者対象)	岡山	5月24, 25日		
伐木(特別教育)	津山	6月25, 26日		林業・木材製造業労働災害防止協会 岡山県支部 TEL(086)221-2160
刈り払い機取扱作業	津山 岡山 新見	5月17日 5月18日・7月10日 6月6日		
移動式クレーン運転士 林業架線作業主任者		5月11日・7月19日 6月8日		
はい作業主任者	津山 倉敷	5月17日 7月10日	陸上貨物運送事業労働災害防止協会 TEL(086)234-1332	

森林・林業関係イベント参加募集

実施年月日	開 催 場 所	イベントの名称	問合せ・申込み先
5.13(日) 9:00~12:00	高梁自然公園 (高梁市落合町原田地内)	愛鳥週間 「ふれあい探鳥会」	NPO法人フォレストフォーピープル岡山 TEL 0866-22-1000
5.20(日) 9:00~12:30	樺の杜 (井原市門田町地内)	樺の杜塾・第145回杜の市 (特産品の販売など)	樺の杜塾 塾長 田村駿逸 TEL 0866-62-8614
5.26(土) 9:00~15:00	備前市吉永町神根本 (神根神社周辺竹林)	春の森林学習講座 ~竹林の利用~	岡山県農林水産総合センター森林研究所 TEL 0868-38-3151
6.17(日) 9:00~12:30	樺の杜 (井原市門田町地内)	樺の杜塾・第146回杜の市 (特産品の販売など)	樺の杜塾 塾長 田村駿逸 TEL 0866-62-8614
7.21(日)	高梁美しい森 (高梁市松山地内)	昆虫観察会	NPO法人フォレストフォーピープル岡山 TEL 0866-22-1000

—— 安全・人と自然・調和 ——

造林木を野生動物の食害から守る

〔野生獣類忌避剤〕コニファー水和剤・ランテクター〔幼令樹保護カバー〕くわんたい
 〔樹皮食い防止に〕バークガード 〔野生草食獣食害防止〕防獣ネット
 〔クズ専用除草剤〕ザイトロン・ザイトロンフレノック・ケイピンエース
 〔樹幹注入剤〕マッケンジー

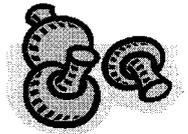
(お問い合わせ申し込みは県森連・森林組合へ)

販売元：日植アグリ株式会社
TEL.086-292-5525

大同商事(株)大阪営業所
TEL：06-6231-2819



林産物市況



木 材 (4月17日)

単位：千円/㎡

樹種	長さ	径 級	直 材	小 曲り	樹種	長さ	径 級	直 材	小 曲り				
杉	3m	14～16	10	-	7	檜	3m	14～16	16	▽	11.5	▽	
		18～20	11.5	-	7			-	18～20	15.5	▽	11.5	▽
		22～24	10	-	7.5			-	22～24	14.5	-	13	-
	4m	18～22	10	-	8.5			-	26cm上	14.5	-	13	-
		24～28	10	-	9			-	4m	14cm	15	▽	13
6m	18～20	18	-	6	-		16～18	19	▽	15	▽		
松	3m	18～24	8	-	5		-	20～22	16	▽	14	-	
	4m	24～30	10	-	5		-	24～28	17	-	14	-	
・出荷材積 約 900 ㎡ 記号 △ 強気配 - 横ばい ▼ 弱気配					6m 14cm 17 - 10 - 16cm 30 - 26 ▽ 18～20 30 - 26 ▽ 22cm上 20 - 16 -								

(共販所より概況)
 スギ：4m元木材の出材が乏しく買い気配です。
 ヒノキ：3m柱材、4m土台が値下がり。構造材の安値が続いています。
 スギ・ヒノキともに直材中心の造材よいと思われます。

資料：岡山県森連勝山木材共販所市況速報、価格は中値。

製 材 (4月中旬)

樹 種	寸 法	等級	区分	安値～高値
スギ	正角 3m 10.5cm 角	特等	G	30,000～35,000
		特等	K	45,000～52,000
	正角 3m 12cm 角	特等	G	30,000～35,000
		特等	K	45,000～52,000
ヒノキ	正角 3m 10.5cm 角	特等	K	55,000～60,000
	正角 3m 12cm 角	特等	K	55,000～58,000
マツ	平角 4m 10.5～12cm×15～18cm	一 等	G	35,000～40,000
			K	60,000～65,000
米マツ	正角 3m、4m 10.5cm 角	特等	G	45,000～48,000
	平角 3m、4m 10.5×15～21cm	特等	G	45,000～48,000
北洋アカマツ	タルキ 4m 3.8cm 角	特等	K	61,000～71,000
ホワイトウッド	間柱 3m 2.7cm×10.5cm	特等	K	48,000～55,000

注：価格は、岡山県内の市場の相場を参考とした。

●全国林業改良普及協会主催の林業関係
 広報コンクールにて、「林声」が広報部門
 の「優秀賞」を受賞いたしました。還暦
 を迎えた「林声」にとってもよい記念とな
 りました。これも、原稿を寄稿してくだ
 さった関係者の皆様、現場で快く取材を
 受けてくださった林業関係者の皆様、御
 協力と今まで編集に携わってきた担当者
 の努力のたまものと感じています。
 ●植林して出材するまで長い年を必要
 とする林業には、一言では言い表せない
 苦労があると思います。「林声」も同じだっ
 たのではないかと想像しています。
 ●今年度第1号をお送りいたします。紙
 面を若干リニューアルしてみました。お
 気づきでしょうか？小さい箇所も多々あ
 りますが、より見やすく、親しみやすく
 を目指しています。記事や内容だけでなく
 紙面作りにもご意見・ご感想をお寄
 せください。
 ●今年度も去年に引き続きA&Nコンビ
 で編集することになりました。昨年と同
 様どうぞよろしくお願ひします。(A&N)

【編集後記】

スミヤケール 販売中!

ドラム缶式炭化炉に比べ、はるかに簡単!
手軽に炭が作れます。

**経費
工具不要**

軽量コンパクト
耐久仕様
(ステンレス)
工具不要で簡単
(組み立て3分)

煙突1ヶタイプ (サイズ2種)
煙突2ヶタイプ (サイズ4種)
株式会社 ファインテクノ・タケダ

営業本部 兵庫工場
岡山県倉敷市真備町有井141-7
TEL: 0860-98-5312(代表)
FAX: 0860-98-5316



CT-500B GP-532
小型ハイパワープロセッサ



shindaiwa

高性能大型林業機械から電動工具まで何でも揃う

美津吉商事株式会社

津山市一方 194 〒708-0883 TEL(0868)23-2255
http://www.mitsuyoshi.com/

『安心・安全な岡山県産原木乾しいたけ』岡山県森林組合連合会

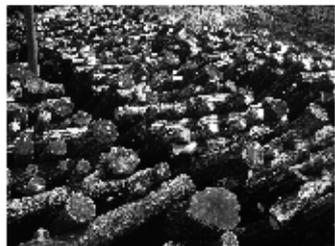


岡山県乾しいたけ品評会、箱物コンクールを開催します

出品の〆切は5月15日(火)

5/25(金) 乾しいたけ入札会

6/13(水) 褒賞授与式
(真庭市勝山文化センター)

◆ 多くの出品をお待ちしております ◆

FOREST INSURANCE

森林 国営保険

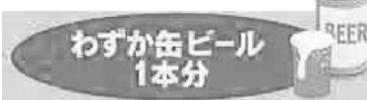
加入できる森林は？ 人の手が加わった森林
 加入期間は？ 1年単位で何年でも！
 保険金がでるのは？
 火災、風害、水害、雪害、干害等気象災の損害があったとき、森林所有者に支払われます。
 岡山県では過去5年間で17億円以上の保険金が支払われました。

ご契約のモデルケース (1ha あたり)

<p>樹種…ヒノキ 契約時林齢…1年 保険期間…5年 保険金額…最大188万円 一括払いだと 21,225円 (5年間計)</p>	<p>樹種…ヒノキ 契約時林齢…26年 保険期間…5年 保険金額…最大299万円 一括払いだと 37,375円 (5年間計)</p>
---	--

1ヶ月あたり
約 350円

→



わずか缶ビール
1本分

1ヶ月あたり
約 620円

→



わずかラーメン
1杯分

- 保険金額を50%にすることにより、保険料を50%にすることも出来ます。
- 条件によって契約金額が変わってきます。
- ご相談は、最寄りの森林組合、県民局(森林整備課)・地域事務所(地域森林課)の窓口へどうぞ。

岡山県農林水産部治山課 電話番号 086(226)7455 (直通)

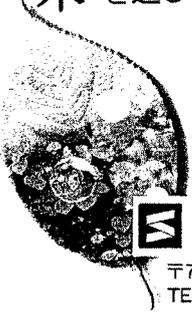
公園・街路修景施設の設計・製作・施工
 その他木製品の注文承ります 水を活かす



株式会社 フォレスト

〒703-8266 岡山市中区湊 125 番地 2
 TEL.086-277-7770 FAX.086-277-6003

木を通して環境保全に貢献しています



公園修景施設・土木用資材
 防腐処理・ログハウス・デッキ

さんもく工業株式会社

〒702-8045 岡山市南区海岸通2丁目6番3号
 TEL 086-262-0137(代) FAX 086-262-0130



緑あふれる環境づくり

株式会社 山都屋

本社 〒703-8273 岡山市中区門田文化町2丁目11番51号
 TEL (086) 272-2161 FAX (086) 272-2142
<http://www.yamatoya-net.com>
 大阪営業所 津山営業所 水島営業所

優良種菌で確かな収穫

もりのたねごま

◆シイタケ、ナメコ、ヒラタケ等の品種の選定及び栽培管理についてなんでも御相談下さい。

製造 総発売元 **森産業株式会社**

岡山営業所 岡山市北区辰巳46-104
 TEL 岡山(086)805-7033(代)

サンケイの松くい虫防除薬剤

多目的使用（空中散布・地上散布）ができる
スミパイン[®] 乳剤・MC
 積れる松枯れ防止用散布剤

モリエート[®] SC
 ナラ枯れ予防用樹幹注入剤

ウッドキング[®] SP

伐倒木用くん蒸処理剤
キルパー[®] 40
 伐倒駆除剤

パインサイド[®] S油剤D
 樹幹注入剤

グリーンガード[®] ファミリー

お問い合わせは最寄りの県森連・森林組合へ

サンケイ化学株式会社
 大阪市淀川区西中島4丁目5番1号 TEL(06)6305-5871

日本植生は環境緑化技術を創造し、地球環境の保全に貢献します。

間伐材利用植生基材マット グリーンフォーマット 切土軟岩用	間伐材利用植生マット 森樹郎マット 切土土砂用	間伐材利用生分解型植生マット 森樹郎マット21 切土土砂用	間伐材利用生分解型植生シート 張りウッド 盛土用	間伐材利用植生シート ハリシバモック 盛土用
--	--------------------------------------	--	---------------------------------------	-------------------------------------

「岡山県エコ製品」の認定を受けた5品目
 間伐材を有効利用した環境緑化資材です。

NETIS登録：CB-010046-A 間伐材利用植生マット工法「森樹郎(シンキロウ)マット工法」

太陽と緑の国づくり
Nihon 日本植生株式会社
<http://www.nihon-shokusei.co.jp/>
 津山支所/津山市高尾573-1 TEL (0868) 28-0256
 岡山営業所/岡山市北区芳賀5325-2 TEL (086) 294-1000

林声
 平成二十四年五月一日(第四一三三号)
 (隔月一日発行)

編集
 〒700-8750 岡山県林政課内
 岡山市北区内山下二一四一六
 岡山県林業改良普及協会

定価
 一部百円

この用紙は、日本の森林を育てるために間伐材を積極的に使用しています。(間伐材10%+古紙70%)



認定番号 K0809236